

1市2町の歴史

1市2町の沿革

明治初期の1市2町は、ほぼ全域が中島郡に属し、100余りの村に分かれていました。その後、明治近代政府の確立、あるいは戦後改革といった社会の大きな変革に伴って、市町村も合併を重ね、行政の体制を整えてきました。

▼ 祖父江の虫送り (祖父江町大字島本)

古くから受け継がれている豊作祈願の神事



日本国憲法施行／地方自治法施行／学校教育法施行、6・3制、小学校・新制中学発足

昭和31年(1956年)



町村合併促進法施行(昭和の大合併始まる)

太平洋戦争が終結

太平洋戦争始まる

満州事変(柳条湖事件)勃発

世界恐慌

昭和4年

昭和6年

昭和16年

昭和20年

昭和22年

昭和28年

昭和29年

昭和30年

昭和31年

昭和33年

昭和34年

昭和39年

昭和40年

昭和45年

昭和46年

昭和47年

昭和48年

昭和49年

昭和50年

昭和51年

昭和52年

昭和53年

昭和54年

昭和60年

昭和62年

大正

治安維持法制定 大正14年
 関東大震災／愛知県の郡制廃止 大正12年
 第一次世界大戦始まる 大正3年

稲沢操車場が開場

現稲沢市が稲沢町、明治村、千代田村、大里村の4町村になる／現祖父江町が祖父江町、長岡村になる／現平和町が前身である平和村になる

明治22年(1889年)

知事、郡市町村長会議で小町村の合併計画を公表
 日露戦争始まる
 愛知県で郡制施行／濃尾大地震
 大日本帝国憲法公布／市制町村制施行(明治の大合併始まる)

郡区町村編制法制定／尾張部に名古屋区のほか8郡設置
 名古屋県、愛知県と改称
 尾張は名古屋・犬山の2県になる／犬山県、名古屋県に合併
 尾張藩、名古屋藩と改称／名古屋藩が版籍奉還

明治37年

明治32年

明治29年

明治27年

明治24年

明治22年

明治20年

明治19年

明治11年

明治5年

明治4年

明治2年

明治3年

明治4年

明治5年

明治11年

明治19年

明治20年

明治22年

明治24年

明治27年

明治29年

明治32年

明治37年

明治39年

明治39年(1906年)

現稲沢市が25町村になる／現祖父江町が6村になる／現平和町が3村になる
 中島郡へ岐阜県中島郡東加賀井村はじめ4村を編入
 東海道線(清洲―宮間)が開通
 中島郡役所を稲葉村におく

明治初年(1868年)頃

木曾川堤防(お囲い堤)の完成以降、新田開発が進む 植木・苗木、野菜の生産が盛んになる
 尾張国府、国分寺、国分尼寺が置かれ、尾張国の政治・経済・文化の中心地として栄える
 集落が形成され、人が住み始める

江戸以前

江戸
 古墳～奈良
 弥生～

平成

平成15年(2003年)



ニューヨーク同時多発テロ
 地方分権一括法施行／東海豪雨
 長野冬季オリンピック
 阪神淡路大震災／地下鉄サリン事件／市町村の合併の特例に関する法律改正(10年延長)
 関西国際空港開港
 湾岸戦争勃発／ソビエト連邦解体
 消費税導入／ベルリンの壁崩壊

平成14年 稲沢中島広域事務組合発足／平和らくらくプラザ完成

平成13年

平成12年

平成10年

平成7年

平成6年

平成3年

平成2年

平成元年

稲沢市民会館完成
 祖父江町中央図書館完成

稲沢市・岐阜県郡上郡八幡町と友好都市提携調印
 稲沢市・赤峰市(中国)と友好都市提携調印

昭和

▼ 一時上臈 (平和町大字三宅)

いっときじょうろう

500年以上の歴史があるともいわれる津島神社に奉納する神事



▼ 中高記念館 (稲沢市国府宮二丁目)

明治13年建立、中島郡最初の中島郡高等学校本館



明治